

福岡市港湾整備事業経営戦略

団 体 名 : 福岡市

事 業 名 : 港湾整備事業

策 定 日 : 令和 6 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 5 年度 ~ 令和 14 年度

※複数の港湾を有する事業にあつては、港湾ごとの状況が分かるよう記載すること。

1. 事業概要

(1) 事業形態

法適(全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	非 適	事 業 開 始 年 月 日	昭和39年4月1日
職 員 数	20 人	港 湾 区 分 (重 要 港 湾 等)	国際拠点港湾
民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託	—	
	イ 指定管理者制度	博多港港湾施設(港湾運営会社の運営に係る埠頭群を除く) 博多港国際ターミナル	
	ウ PPP・PFI	博多港港湾施設(港湾運営会社の運営に係る埠頭群)	

(2) 使用料体系

※施設区分の中で複数の使用料体系がある場合には、それぞれの内容を分けて記載すること。

使 用 料 体 系 の 概 要 ・ 考 え 方		現行の使用料体系については以下の表のとおり。 使用料額は、減価償却費、利子、人件費、修繕費、維持管理経費、施設改良費等の費用を耐用年数で回収する場合の原価年額を基に、他港の使用料額を勘案して設定している。								
施設区分		現行(a)		前回(b)		改定率	前々回(c)		改定率	
		使用料区分	使用料	改正年	使用料	改正年	(a/b)%	使用料	改正年	(b/c)%
上 屋	一般利用 1日1㎡ までごと	～3日目 <small>(外賃無料)</small>	7.1	H9	6.5	H5	109.2 %	5.9	H元	110.2 %
		4～15日目								
		16～30日目	15.3	H9	14.3	H元	107.0 %	13.5	S59	105.9 %
		31日目～	38.0	H9	37.0	H元	102.7 %	36.0	S59	102.8 %
		専用利用	1月1㎡	200	H12			(新設)		
	目的外	1月1㎡	615	H9	565	H5	108.8 %	510	H元	110.8 %
	上屋付帯事務室	専用利用 1月1㎡	615	H9	565	H6	108.8 %			
	青果上屋	専用利用 1月	8,069,000	H11	7,469,000	H10	108.0 %	6,769,000	H9	146.2 %
	内貿コンテナ上屋		2,200,000	H12			(新設)			
	外貿コンテナ上屋		2,100,000	H18			(新設)			
	ROROターミナル上屋		1,987,000	H27			(新設)			

施設区分		使用料区分	現行(a)		前回(b)		改定率	前々回(c)		改定率
			使用料	改正年	使用料	改正年	(a/b)%	使用料	改正年	(b/c)%
管理棟	会議室	1時間	1,700	H9	1,600	H6	106.3 %			
	事務室	専用利用1月1㎡	1,900	H9	1,800	H6	105.6 %			
	ゲート施設	専用利用1月	300,000	H11			(新設)			
	その他	専用利用1月1㎡	2,000	H9	1,900	H6	105.3 %			
	検査場	コンテナ1個1回	1,000	H16	1,300	H7	76.9 %			
	修理場	専用利用1月	961,400	H9	874,000	H7	110.0 %			
荷さばき地	一般利用 1日1㎡ 舗装地	～15日目	5.5	H9	5.2	H6	105.8 %	4.7	H元	110.6 %
		16～30日目	11.1	H9	10.5	H6	105.7 %	9.5	H元	110.5 %
		31日目～	22.0	H9	21.0	H6	104.8 %	19.0	H元	110.5 %
	一般利用 1日1㎡ 未舗装地	～15日目	2.8	H9	2.7	H元	103.7 %	2.5	S59	108.0 %
		16～30日目	5.1	H9	4.8	H元	106.3 %	4.5	S59	106.7 %
		31日目～	10.2	H9	9.6	H元	106.3 %	9.0	S59	106.7 %
	専用利用 1月1㎡	舗装地	127	H12			(新設)			
		未舗装地	71	H12			(新設)			
	穀物用荷役機械	5基1組1月 (H23まで6基1組)	13,600,000	R3	12,500,000	H30	108.8 %	13,500,000	H24	92.6 %
	トロリ式橋形クレーン	1台30分 (H10まで1台1時間)	26,000	H15	33,000	H11	78.8 %	1台1時間 66,000		
	冷凍コンセント	4口1基1月	26,500	H16	53,000	H11	50.0 %	1口1時間 270		
野積場	一般利用 1日1㎡ 舗装地	～15日目	5.5	H9	5.2	H6	105.8 %	4.7	H元	110.6 %
		16～30日目	11.1	H9	10.5	H6	105.7 %	9.5	H元	110.5 %
		31日目～	22.0	H9	21.0	H6	104.8 %	19.0	H元	110.5 %
	一般利用 1日1㎡ 未舗装地	～15日目	2.8	H9	2.7	H元	103.7 %	2.5	S59	108.0 %
		16～30日目	5.1	H9	4.8	H元	106.3 %	4.5	S59	106.7 %
		31日目～	10.2	H9	9.6	H元	106.3 %	9.0	S59	106.7 %
	専用利用 1月1㎡	舗装地	127	H9	122	H7	104.1 %	114	H6	107.0 %
		未舗装地	71	H9	69	H元	102.9 %	66	S61	104.5 %
		市長が指定する専用利用1月1㎡	102	H16			(新設)			
	目的外 1月1㎡	舗装地	191	H9	180	H6	106.1 %	163	H元	110.4 %
未舗装地		118	H9	112	H6	105.4 %	101	H元	110.9 %	
	立体車両野積場	専用利用1月	11,500,000	H8	10,491,000	H5	109.6 %			
水面貯木場	一般利用 1日1㎡	～45日目	0.70	H7	0.60	H元	116.7 %	0.54	S60	111.1 %
		46日目～	1.10	H7	0.90	H元	122.2 %	0.81	S60	111.1 %
	専用利用 1月1㎡	倉庫水面	9.00	H7	8.00	H元	112.5 %	7.30	S60	109.6 %
		専用水面	12.00	H7	10.00	H元	120.0 %	9.40	S60	106.4 %
	目的外 1月1㎡	20.00	H7	17.00	H元	117.6 %	16.00	S60	106.3 %	
港湾施設用地	起重機 1基1月	ジブ長7m以上	2,700	H9	2,500	H5	108.0 %	2,200	H2	113.6 %
		ジブ長7m未満	4,000	H9	3,700	H5	108.1 %	3,300	H2	112.1 %
	その他	1月1㎡	161	H9	150	H5	107.3 %	136	H2	110.3 %
	目的外 1月1㎡	上屋用地 倉庫用地	241	H9	223	H5	108.1 %	202	H2	110.4 %
		上屋屋上	80	H9	75	H5	106.7 %	68	H2	110.3 %
		その他の用地 舗装地	214	H9	198	H5	108.1 %	180	H2	110.0 %
	その他の用地 未舗装地	133	H9	123	H5	108.1 %	111	H2	110.8 %	
	旅客ターミナル	専用利用1月	1,800,000	H8	1,689,000	H5	106.6 %	1,610,000	H3	104.9 %

施設区分		現行(a)		前回(b)		改定率	前々回(c)		改定率		
		使用料区分	使用料	改正年	使用料	改正年	(a/b)%	使用料	改正年	(b/c)%	
博多港国際ターミナル	ターミナル 使用料	6歳～12歳未満	250	H19	200	H11	125.0 %				
		12歳以上	500	H19	400	H11	125.0 %				
	外国航路の旅客の検査に 使用する施設及び待合所		1回	3,500	H11	1日1㎡ 105	H8	- %	100	H5	105.0 %
						1時間1㎡ 11.6	H8	- %	11	H5	105.5 %
	旅客乗降施設	1基1日	35,000	H11				(新設)			
	運航案内 表示板	1日	2,000	H19				(新設)			
	手荷物 取扱所	1時間	406	H11	1日1㎡ 105	H8	-	-	100	H5	105.0 %
									11	H5	105.5 %
	手荷物受取場	1室1時間	6,100	H8	5,800	H5	105.2 %				
	荷さばき場	1室1日	4,200	H8	4,000	H5	105.0 %				
		1室1時間	530	H8	500	H5	106.0 %				
	ターミナルホ- ル (1室)	1時間以内	20,000	H8	1時間 20,000	H5	-	-	100 %		
		1時間超 3時間以内	30,000	H8					50～75 %		
		3時間超 5時間以内	40,000	H8					40～50 %		
		5時間超	60,000	H8					～50 %		
	会議室 (1室)	1時間以内	5,200	H8	1時間 5,200	H5	-	-	100 %		
		1時間超 3時間以内	10,400	H8					66.7～100 %		
		3時間超 5時間以内	15,600	H8					60～75 %		
		5時間超	26,000	H8					～83.3 %		
	特別 応接室 (1室)	1時間以内	5,200	H8	1時間 8,400	H5	-	-	61.9 %		
		1時間超 3時間以内	10,400	H8					41.3～61.9 %		
		3時間超 5時間以内	15,600	H8					37.1～46.4 %		
		5時間超	26,000	H8					～51.6 %		
	控室	1室1時間	320	H8	300	H5	106.7 %				
	一般用 駐車場	30分までごと	150	H5				(新設)			
		24時間以内	4時間30分 超 1,000	H19	12時間超 3,600	H8	- %				
		24時間超	上記繰り返し	H19	1時間までごと 00	H8	- %				
	事務室	公共1月1㎡	1,750	H8	1,650	H5	106.1 %				
		その他1月1㎡	2,000	H8	1,900	H5	105.3 %				
	店舗	1級1月1㎡	3,000	H8	2,900	H5	103.4 %				
		2級1月1㎡	2,000	H8	1,900	H5	105.3 %				
	倉庫	1月1㎡	2,000	H8	1,900	H5	105.3 %				
業務用駐車場	1台1月	15,800	H8	15,000	H5	105.3 %					
電照掲示板	1基1月	12,000	H8	11,400	H5	105.3 %					
展望 デッキ	1月1㎡	280	H8	260	H5	107.7 %					
	1日1㎡	28	H8	26	H5	107.7 %					
屋内	床面1月1㎡	2,000	H8	1,900	H5	105.3 %					
	床面1日1㎡	200	H8	190	H5	105.3 %					
	壁面1月1㎡	1,000	H8	950	H5	105.3 %					
	壁面1日1㎡	100	H5				(新設)				
屋外 展望デッキ 除く	1月1㎡	560	H8	520	H5	107.7 %					
	1日1㎡	56	H8	52	H5	107.7 %					

施設区分	使用料区分	現行(a)		前回(b)		改定率	前々回(c)		改定率
		使用料	改正年	使用料	改正年	(a/b)%	使用料	改正年	(b/c)%
博多港国際ターミナル	映像設備	ビデオプロジェクター1台	2,400	H5			(新設)		
		プロジェクションテレビ1台	1,200	H5			(新設)		
		スライド映写機1台	1,200	H5			(新設)		
		オーバーヘッドプロジェクター1台	1,200	H5			(新設)		
		固定式スクリーン1台	1,000	H5			(新設)		
		移動式スクリーン1台	300	H5			(新設)		
	楽器・音響設備	電子ピアノ1台	800	H5			(新設)		
		マイクロホン1本	1,000	H5			(新設)		
		ワイヤレスマイクロホン1チャンネル	1,200	H5			(新設)		
		拡声装置1式	1,500	H5			(新設)		
	舞台設備	移動式ステージ1台	600	H5			(新設)		
		演台1台	200	H5			(新設)		
		花台1台	100	H5			(新設)		
		金屏風半双	500	H5			(新設)		
		電動パトン1本	500	H8	300	H5	166.7 %		
	その他	案内スタンド1台	500	H8			(新設)		
		スタンド類1本	200	H5			(新設)		
		コンセント(1kw)1個	100	H5			(新設)		

※各項目の単位を明記すること

(3) 現在の経営状況

年間取扱貨物量 ※過去3年分を暦年で集計	R2	32,313,714 トン	R3	32,242,372 トン	R4	32,253,371 トン
年間船舶乗降旅客数 ※過去3年分を暦年で集計	R2	767,927 人	R3	581,889 人	R4	753,004 人
年間使用料収入額 (税込み) ※過去3年度分を記載	R2	3,010,260 千円	R3	3,007,852 千円	R4	3,021,158 千円
経常収支比率 (又は収益的収支比率) ※過去3年度分を記載	R2	102.4 %	R3	113.3 %	R4	82.9 %
経費回収率 ※過去3年度分を記載	R2	92.3 %	R3	96.1 %	R4	70.5 %
他会計補助金比率 ※過去3年度分を記載	R2	0 %	R3	0 %	R4	0 %
企業債残高対 料金収入比率 ※過去3年度分を記載	R2	1070.0 %	R3	1131.1 %	R4	1065.5 %

【上記の収益、資産等の状況等を踏まえた現在の経営状況の分析】

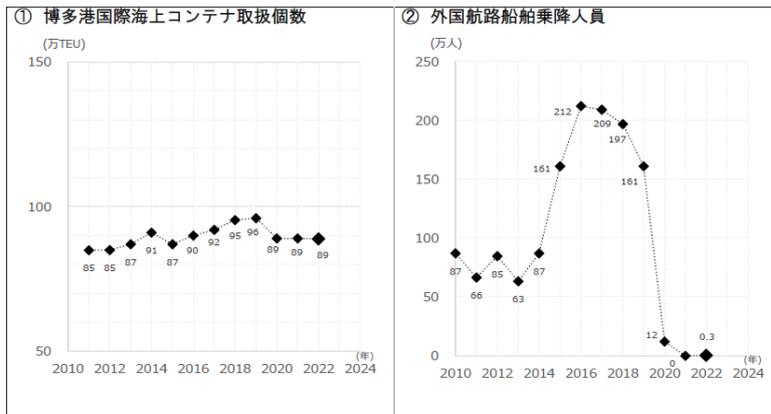
年次の市債の償還額によって増減するが同一の特別会計を構成している臨海土地造成事業の黒字分や同特別会計積立金からの繰り入れにより、他会計補助金比率は0%を維持。

企業債残高対料金収入比率については企業債の償還が進んでおり、今後は減減していくことが予想される。

2. 将来の事業環境

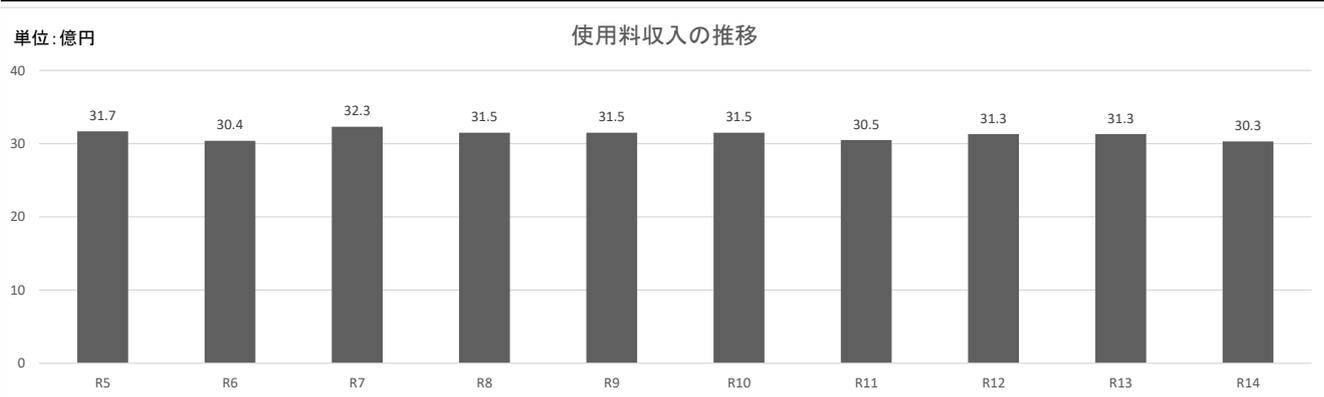
(1) 取扱貨物量等の見通し

博多港国際海上コンテナ取扱個数は、長期的に増加傾向で推移しており、R1には約96万TEUと過去最高を記録したが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、R2以降は横ばいで推移。
 外国航路船舶乗降人員は新型コロナウイルス感染症の影響による人の移動の制限等が緩和され、2022年11月から日韓定期航路が再開したところであり、前年比で微増となっている。



(2) 使用料収入の見通し

使用料収入については、現状ベースで増減要素を加味して試算しており、毎年度概ね30億円程度を見込んでいる。



(3) 施設の見通し

港湾空港局アセットマネジメント推進計画に基づき、施設の点検、補修・更新を実施する。実施にあたっては、市費負担軽減に努め、平準化を行いながら、効率的な維持管理に努める。

博多港港湾施設(特別会計施設)総括表 (令和5年3月末現在)

項目	単位	アイランドシティ	香椎PP	箱崎ふ頭	東浜ふ頭	中央ふ頭	博多ふ頭	須崎・那の津	その他	合計						
一般上屋	棟 ㎡			2	11,224		1	1,105	2	2,147	14	35,944	17	39,196		
青果上屋	棟 ㎡												2	11,224		
内貿コンテナ上屋	棟 ㎡		1	4,001									1	4,001		
外貿コンテナ上屋	棟 ㎡	1	2,304										1	2,304		
箱崎RORO上屋	棟 ㎡			1	1,500								1	1,500		
検査場	棟 ㎡	1	11,274	1	4,067								2	15,341		
修理場	棟 ㎡		1	1,193									1	1,193		
合計	棟 ㎡	2	13,578	3	9,261	3	12,724		1	1,105	2	2,147	14	35,944		
荷さばき地	㎡						784				12,789			13,573		
アンローダ	基 揚力 t/h			2	400				3	400				5		
荷役	基 揚力 t	6	40.6	4	40.6									10		
機械	基 秤量 t	1	60	5	50									6		
計量機	基															
野積場	㎡		609,853		372,717		371,257		99,747		61,591		3,210	17,422	17,395	1,553,192
管理棟	棟 ㎡	1	850	1	4,996									2	5,846	
上屋付帯事務室	㎡														98	
冷凍コンテナ	口		240												272	
旅客待合所	棟 ㎡													2	15,638	
倉庫用地	㎡						9,983								32,787	
施設	㎡														4,613	
上屋用地	㎡														9,125	
上屋上	㎡			478	125										4,222	
その他用地	㎡														23,663	
合計	㎡			478	125		9,983								14,174	
水面貯木場	㎡														71,132	
合計	㎡			478	125		9,983								105,153	
合計	㎡			478	125		9,983								145,236	

(4) 組織の見通し

ICTの活用や業務の見直しなどにより、行政サービスの向上と業務の効率性・生産性の向上を図り、職員の力を最大限に発揮する組織体制の構築に取り組む。

3. 経営の基本方針

【港湾計画の方針】

今後、加速度的に進む人口減少に直面し、国内消費や経済の低迷が懸念されている我が国において、地方創生による経済成長を将来にわたって実現するため、世界の物流・人流で成長著しいアジア最前線の港である博多港の役割はますます重要になってくることから、港湾機能の強化や高効率な港湾運営を図り、博多港の地理的優位性を生かしたサービスを展開することで、アジアの成長と活力を取り込み、日本の経済成長を牽引するとともに、厳しい財政状況や今後増大する老朽化施設への対応を勘案した戦略的なアセットマネジメントの展開や、大規模災害時における港湾機能の維持、港における地球温暖化対策などを推進する。

博多港は、活力と存在感に満ちた「日本の対アジア拠点港」として、以下の「物流」「人流」「環境」の3つの方針に基づき、次のステージに向けたみなとづくりを進め、福岡ひいては我が国の持続的な発展に貢献する。

- (物流) 都市の成長を牽引するみなとづくり
- (人流) 交流を促進し親しまれるみなとづくり
- (環境) 環境を守り・育てるみなとづくり

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	
	市民生活や経済活動を支える港湾物流の安定的かつ効率的な活動を促進

荷役機械の継続的な更新を実施。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	
	港湾整備事業特別会計の独立採算の維持

使用料収入のほか遊休地の活用などによる財源確保に努め、港湾整備事業特別会計の健全な運営が継続して維持出来る見込み。

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

職員給与費、委託料、管理運営等の経常的な経費については、現状維持を基本としている。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

※投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。
また、(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

民間活用	—
投資の平準化	—
その他の取組	港湾計画に基づいた、ふ頭地区の埋立について検討中。

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料	—
企業債	—
繰入金	—
資産の有効活用等による収入増加の取組	—
その他の取組	—

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

委託料	—
管理運営費	—
職員給与費	—
その他の取組	—

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	5年を目途に新規事業の要素など必要に応じた見直しを行う。
---------------------	------------------------------

